

1 題材名 Unit 7 サンフランシスコの学校

2 題材の目標

- 間違いを恐れず、自己紹介文を書こうとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 既習語句・文法事項を用いて、英語で自己紹介文を書くことができる。(表現の能力)
- 自己紹介文の内容を理解することができる。(理解の能力)
- 疑問詞 who, what, which を用いた文の構造を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

本題材では、ビデオレターでサンフランシスコの中学校を紹介する場面が描かれており、本文には学校生活などの身近な事柄が取り扱われている。そこで、本校に6月に赴任したばかりのAETに生徒が自分の身近な事柄について英文で書き、紹介する活動を取り入れたい。また、中学校学習指導要領解説(外国語編)第2章第2節には、書くことの言語活動について「(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」と示されている。そのなかで、「文と文のつながりなどに注意して文章を」は、今回の改訂で新たに追加された部分である。本時の活動ではこれまで培った語彙や文の構造を生かし、正確で結束性のある英文を書く力を伸ばす機会としたい。

第1学年〇組 意識調査結果(9月25日実施 32人回答)

(1) 聞くこと、話すこと、読むことに比べ、書くことに難しさを感じていますか?

- ① はい 24人 ② いいえ 8人

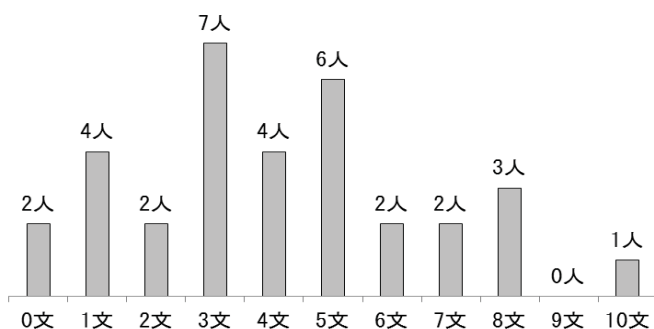
(2) (1)で「はい」と答えた理由は何ですか?(複数回答可)

- ① 単語の綴りが難しい。 21人 ② 語句の並べ方が難しい。 10人
 ③ 文字や符号の使い分けが難しい。 5人 ④ その他 2人

(フォニックスが難しい。特別な発音の綴りの単語がある。)

第1学年〇組 実態調査結果(10月5日実施 33人回答)

(1) 「自己紹介」、「私の好きなもの・好きなこと」など、自由にテーマを設定し、英文を書けるだけ書いて下さい。



- ① 平均作文数 4.1文
- ② 正答率 44.4%
- ③ 誤答率 55.6%
- ④ 誤答の傾向
 - ア 大文字・小文字や符号ミス 38.7%
 - イ 文法ミス(語順・語句不足) 16.0%
 - ウ 綴りミス 12.0%
 - エ ア～ウの複合型 30.7%
 - オ ミスが多く読み取れない 2.7%

各調査の結果から、書く活動を苦手としている生徒や、英文を書く際に初歩的なミスをする生徒が多いことがわかった。生徒のこうした実態を踏まえ、英文を書く活動の時間を十分に確保したい。また、グループ学習を取り入れることで、生徒同士が教え合う場を設定し、苦手な生徒もスムーズに活動できるように支援したい。

4 題材指導計画及び評価規準（6時間扱い）

| 時 | 学習内容及び活動 | 具体的な手立て |
|--------------|--|---|
| | 評価規準〈観点〉・方法 | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 who の使い方を理解する。 本題材の主要な活動である A E T への自己紹介文を書く活動のガイダンスをする。 英語で自己紹介文を書く活動のための言語事項を習得する。 | <ul style="list-style-type: none"> 帯活動 本文内容理解のためのヒントカード 小学校外国語活動教材「英語ノート」や“Hi, friends!”内の語彙や表現を紹介したワークシート |
| | <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 who が用いられた英文を読む活動において、その内容を適切に理解することができる。 (理発表, 観察, ノート) 帯活動において、間違いを恐れず、テーマに関する英語を書こうとしている。 (口発表, 観察, ワークシート) 既習語句・文法事項について理解している。 (言発表, 観察, ワークシート) | |
| 2 3 | <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 what の使い方を理解する。 自己紹介文のテーマを設定する。 自己紹介文を書くための手法を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 帯活動 本文内容理解のためのヒントカード 小学校外国語活動教材「英語ノート」や“Hi, friends!”内の語彙や表現を紹介したワークシート パラグラフ・ライティング（英文カード、例文紹介、つなぎ言葉紹介） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 what が用いられた英文を読む活動において、その内容を適切に理解することができる。 (理発表, 観察, ノート) 帯活動において、間違いを恐れず、テーマに関する英語を書こうとしている。 (口発表, 観察, ワークシート) 自己紹介文を書く活動において、既習語句・文法事項を用いて自分の言いたいことを表現することができる。 (表観察, ワークシート) 既習語句・文法事項について理解している。 (言発表, 観察, ワークシート) | |
| 4 5 本時 | <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 which の使い方を理解する。 自己紹介文（下書き）を書く。 自己紹介文を友人と回し読み、推敲する。 友人、J T E、A E T の助言を基に、自己紹介文を完成させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 帯活動 本文内容理解のためのヒントカード パラグラフ・ライティング |
| | <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 which が用いられた英文を読む活動において、その内容を適切に理解することができる。 (理発表, 観察, ノート) 友人、J T E、A E T の助言を基に、内容に一貫性があり、読み手に正しく伝わるのに十分な量の自己紹介文を書くことができる。 (表観察, ワークシート) 帯活動において、間違いを恐れず、テーマに関する英語を書こうとしている。 (口発表, 観察, ワークシート) 間違いを恐れず、自己紹介文を書こうとしている。 (口発表, 観察, ワークシート) 既習語句・文法事項について理解している。 (言発表, 観察, ワークシート) | |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> 友人の英文を読み、内容に関する質問に答える。 友人の英文を読み、内容や文の構成について評価する。 | <ul style="list-style-type: none"> 帯活動 パラグラフ・ライティング 英問英答用ワークシート |
| | <ul style="list-style-type: none"> 既習語句・文法事項について理解を深めている。 (言発表, 観察, ワークシート) 自己紹介文を読む活動において、その内容を適切に理解することができる。 (理発表, 観察, ワークシート) 帯活動において、間違いを恐れず、テーマに関する英語を書こうとしている。 (口発表, 観察, ワークシート) 自己紹介文を読み、その内容に対する英文での質問に英語で答えることができる。 (理発表, 観察, ワークシート) 疑問詞 who, what, which を用いた文の構造を理解している。 (言発表, 観察, ワークシート) | |

5 本時の展開

(1) 目標

- ・ 間違いを恐れず、自己紹介文を書こうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・ 友人、JTE、AETの助言を基に、内容に一貫性があり、読み手に正しく伝わるのに十分な量の自己紹介文を書くことができる。
(表現の能力)

(2) 資料、準備物

- ・ 帯活動用ワークシート
- ・ 英文作成用ワークシート
- ・ 英和辞書
- ・ 和英辞書

(3) 展開

| 学習内容及び活動 | 形態 | ○教師の支援・留意点 ●個への対応 評価 |
|---|---|--|
| <p>1 挨拶をする。</p> <p>2 帯活動を行う。 (1) テーマを紹介する。 (2) テーマに関する語句や表現を個別に書く。 (3) グループを作り、個別に書いた語句や表現をシェアリングする。</p> <p>3 本時の課題を確認し、作文を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">AETの先生への紹介文を完成させよう！</p> </div> <p>(1) 前時の復習をする。 (2) 文章構成を確認する。 (3) 活動手順を確認する。 ア 自分が書いた紹介文(下書き)をグループ内の友人に渡し、読んでもらう。 イ 友人の作文を読み、助言したり、コメントしたりする。 ウ 自分の手元に帰ってきた自分の紹介文を必要に応じて書き直す。 エ 紹介文(清書)を完成させる。 (4) 活動を始める。</p> <p>4 本時の学習のまとめ (1) 本時の学習を振り返る。 (2) 次時の予告をする。</p> | <p>一斉</p> <p>個人グループ</p> <p>一斉グループ</p> <p>一斉</p> | <p>○英語で挨拶をし、英語学習の雰囲気をつくる。</p> <p>○本時の課題の導入となるようなテーマを設定する。 ●個人で活動させた後に、グループ内で活動の結果を確認させることで、誰もが活動しやすいようにする。 ●活動に戸惑ったり、書きたい語句や表現が思いつかなかったりする生徒を個別に指導する。 ●辞書を使ってよいことを伝え、たくさんの語句や表現を書かせる。 ●生徒が書く内容を予想し、語句や表現の例示をする。</p> <p>○前時までに作成した紹介文をグループ内の友人で回し読み、推敲させることで、清書の参考にさせる。 ○パラグラフ・ライティングの手法や帯活動の語彙、文構造などの既習事項を復習させ、紹介文にこれらの表現が使えることを確認させるとともに、内容に一貫性があり、読み手に正しく伝わるのに十分な量の紹介文を書かせる。 ○紹介文はAETに向けて書くだけでなく、クラスメイトも読むことを確認し、活動への意欲を高める。 ○「本校に勤務していないAETが事前に紹介文を読み、訂正した」という想定であることを確認させるとともに、その助言を基に、紹介文を完成させるとともに、その助言を基に、紹介文を完成させるとともに、その助言を基に、紹介文を完成させるとともに、その助言を基に、紹介文を完成させる。 ●書きたい語句、表現が思い浮かばない生徒に助言したり、前時までのワークシートを確認させたりして、紹介文作成の参考にさせる。 ●助言の内容がわからなかったり、難し過ぎたりする場合にはヒントを与えたり、より容易な質問に言い換えたりする。 ○適切な表現を称賛し、誤った表現を訂正することで、英文を書くことに喜びと自信を持たせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">友人、JTE、AETの助言を基に、内容に一貫性があり、読み手に正しく伝わるのに十分な量の自己紹介文を書くことができる。 (表観察、ワークシート)</p> </div> <p>○本時の学習への生徒の取り組みを評価し、称賛と助言を与え、次時の学習に対する意欲を喚起する。</p> |